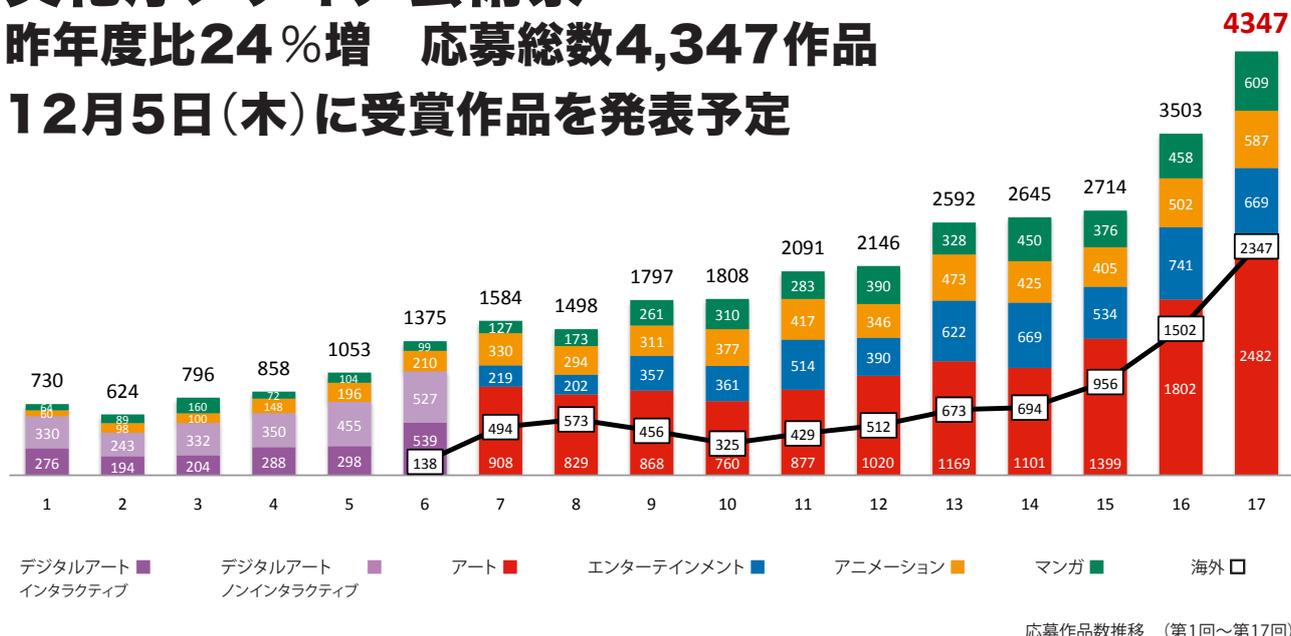


平成25年度[第17回] 文化庁メディア芸術祭 昨年度比24%増 応募総数4,347作品 12月5日(木)に受賞作品を発表予定



平成25年度[第17回]文化庁メディア芸術祭の作品募集は、9月12日をもって終了しました。今年度も多くの作品が寄せられ、応募総数は昨年度の24%増、過去最多となる4,347作品を記録しました。特に海外からの応募は、世界83ヶ国・地域から2,347作品(昨年度:71ヶ国・地域/1,502作品)と著しく増加しました。より多様な地域からの応募により、文化庁メディア芸術祭は、メディア芸術の創造性と今日的な表現を広く紹介する国際的なフェスティバルへと発展しています。

今後は、各部門5名の審査委員による審査を実施し、高い芸術性と創造性を基準として、部門ごとに大賞1作品、優秀賞4作品、新人賞3作品を選定します。受賞作品は、功労賞と審査委員会推薦作品とともに12月5日(木)に発表予定です。

文化庁メディア芸術祭の公式ウェブサイトでは、受賞作品の発表や国立新美術館(東京・六本木)を中心に複数の会場で開催予定の受賞作品展の情報等を随時発信します。

公式ウェブサイト <http://j-mediaarts.jp>

※公式ウェブサイトのプレスページでは、リリースの閲覧、取材や広報用素材の申請が可能です。

Facebook <http://www.facebook.com/JapanMediaArtsFestival>

Twitter @JMediaArtsFes

広報問合せ先

文化庁メディア芸術祭事務局 広報担当[hilo Press内] 鎌倉・星野・佐藤

Email : jmaf17-pr@hilopress.net Tel : 03-5682-3072 Fax : 03-6369-3596 (受付時間:平日10時～18時)

〒104-0031 東京都中央区京橋1-14-5-5F

平成25年度[第17回]文化庁メディア芸術祭 応募概況

募集部門:4部門(アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガ)

募集期間:2013年7月11日(木)~9月12日(木) 64日間

■ 応募作品数

インタラクティブアート	217
メディアインスタレーション	421
映像作品	934
グラフィックアート	678
ウェブ	88
メディアパフォーマンス	144
アート部門	計 2,482

ゲーム	114
映像作品	327
ガジェット	71
ウェブ	78
アプリケーション	79
エンターテインメント部門	計 669

劇場アニメーション テレビアニメーション オリジナルビデオアニメーション	76
短編アニメーション	511
アニメーション部門	計 587

単行本で発行されたマンガ 雑誌等に掲載されたマンガ	502
コンピュータや携帯情報端末等で 閲覧可能なマンガ	68
同人誌等を含む自主制作のマンガ	39
マンガ部門	計 609

応募作品総数	4,347
---------------	--------------

■ 海外からの応募

2,347作品 / 83ヶ国・地域 (昨年度[第16回] 1,502作品 / 71ヶ国・地域)

アイスランド、アイルランド、アラブ首長国連邦、アルゼンチン、イスラエル、イタリア、イラン、インド、インドネシア、ウクライナ、英国、エクアドル、エジプト、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、カンボジア、ギリシャ、キルギス、グアテマラ、クロアチア、ケニア、コスタリカ、コソボ、コロンビア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、セネガル、セルビア、セルビア・モンテネグロ、タイ、台湾、チェコ共和国、中国、チリ、デンマーク、ドイツ、トルコ、ナイジェリア、ニュージーランド、ネパール、ノルウェー、パキスタン、パナマ、パレスチナ、ハンガリー、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ブルガリア、米国、ベトナム、ベネズエラ、ベラルーシ、ペルー、ベルギー、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ポリビア、ポルトガル、香港、マカオ、マケドニア、マレーシア、南アフリカ、メキシコ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ルワンダ、レバノン、ロシア (五十音順)

受賞作品は12月5日(木)に発表予定

受賞発表	2013年12月5日(木) 記者発表会 15:00～16:30(予定) 会場=国立新美術館(東京・六本木) 3階 講堂 ※審査委員による講評のほか、受賞者の登壇を予定しています。 ※記者発表会についての詳細は11月中旬に発表予定。
贈呈式	2014年2月4日(火) 会場=国立新美術館(東京・六本木)
受賞作品展	2014年2月5日(水)～2月16日(日)※2/12(水)休館 会場=国立新美術館(東京・六本木) インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター、シネマート六本木、スーパー・テラックス 他(予定)

■ 審査委員

アート部門

植松 由佳(国立国際美術館主任研究員)
岡部 あおみ(美術評論家)
後々田 寿徳(キュレーター/梅香堂オーナー)
高谷 史郎(アーティスト)
三輪 真弘(作曲家/情報科学芸術大学院大学(IAMAS)教授)

エンターテインメント部門

飯田 和敏(ゲーム作家/デジタルハリウッド大学教授)
岩谷 徹(ゲームクリエイター/東京工芸大学教授)
宇川 直宏(現在美術家/京都造形芸術大学教授/DOMMUNE 主宰)
久保田 晃弘(アーティスト/多摩美術大学教授)
中村 勇吾(インターフェースデザイナー/tha ltd. 代表取締役)

アニメーション部門

大井 文雄(アニメーション作家)
小出 正志(アニメーション研究者/東京造形大学教授)
杉井 ギサブロー(アニメーション映画監督)
森本 晃司(アニメーション監督)
和田 敏克(アニメーション作家)

マンガ部門

伊藤 剛(マンガ評論家/東京工芸大学准教授)
斎藤 宣彦(編集者/マンガ研究者)
すがや みつる(マンガ家/京都精華大学教授)
みなもと 太郎(漫画家/マンガ研究家)
ヤマダ トモコ(マンガ研究者)

■ 選考委員

アート部門

小町谷 圭(メディアアーティスト/札幌大谷大学講師)
工藤 健志(青森県立美術館学芸員)
田坂 博子(東京都写真美術館学芸員)

松井 茂(詩人/東京藝術大学芸術情報センター助教)
鷺田 めるる(金沢21世紀美術館キュレーター)

■ 各 賞

高い芸術性と創造性を基準として、部門ごとに大賞1作品、優秀賞4作品、新人賞3作品を選定します。
また、審査委員会の推薦により、メディア芸術分野に貢献のあった方に対して、功労賞を贈呈します。

メディア芸術祭賞(文部科学大臣賞)

大 賞：賞状、トロフィー、副賞 60 万円 優秀賞：賞状、トロフィー、副賞 30 万円
新人賞：賞状、トロフィー、副賞 20 万円 功労賞：賞状、トロフィー
このほか、優れた作品を審査委員会推薦作品として選定します。



昨年度のメディア芸術祭賞贈呈式の様子

主催

文化庁メディア芸術祭実行委員会

問合せ先

文化庁メディア芸術祭事務局 [CG-ARTS 協会内]

Email : jmaf@cgarts.or.jp Tel : 03-3535-3501 (受付時間：平日 10 時～ 18 時)